



初等部だより 12月号

鎌倉女子大学初等部

平成29年11月29日

第9号

初等部 みどり祭

部長代理 勝木 茂

雨の日が多かった10月に比べ、11月は天候が安定し、休み時間には元気のよい子どもたちの声がグラウンドのあちらこちらから聞こえていました。初等部には、屋外での遊びを1日の中で楽しみにしている子どもたちがたくさんいるようです。

さて、11月11日(土)・12日(日)「描こう！私たちの輝く夢を」をテーマに第23回「みどり祭」を幼稚部・初等部合同で開催いたしました。保護者、卒業生をはじめとする多くみなさまにご来校いただき誠にありがとうございました。(来校者数[2日間合計]=2,120名)

「みどり祭」は、協力して美しいもの、よりよいものをつくり出す、あるいは互いに発表しあう場となっています。また、初等部「みどり祭」は幼稚部との合同開催のみならず、そこには、“中等部・高等部マーチングバンド部演奏披露”“大学生による『エイサー』『フラダンス』披露”など学園ならではの内容も豊富に含まれています。保護者の皆様や教職員の作品展示もあります。さらには、芸術鑑賞会として今年は“パーカッション・アンサンブル(ファンカッション)”も行われました。



1年生 図工科



2年生 生活科



3年生 算数科



4年生 理科



5年生 国語科



6年生 総合

「みどり祭」では、子どもたちがこれまで授業を中心に取り組んできた様々な作品の展示や発表が数多くありました。国語科、社会科、算数科、理科、図工科、家庭科、総合的な学習の時間、クラブ活動、礼法指導等々、そこには、子どもたちの初等部での日常の学習や生活の積み重ねが表現されていました。

例えば、図工科での作品展示を見たとき、その作品一つ一つに、つくった子の思いや願いがぎゅっと凝縮されていることが伝わってきます。その子が選んだモチーフ、形、色、筆づかい……。

子どもたちにとって「みどり祭」は、文化や芸術を身近に感じ、美しいものや優れたものを自分で体感し、豊かな情操が育つ機会となったことと思います。

さて、朝夕冷え込む日が少しずつ増えてきました。季節は秋から冬に確実に変わってきています。子どもたちには朝礼でも繰り返し話していますが、風邪やインフルエンザの予防のためにも「手洗い」「うがい」「せきエチケット」を忘れないようにしたいものです。

二学期も残り少なくなってきました。12月9日(土)には、松本講堂で学芸会を行います。残り約3週間、学芸会もふくめ、子どもたち一人一人の成長を親子で確認し振り返る期間としていただければと思います。